

三菱造船所 旧木型場（史料館）（指定番号：第13号）



写真提供：三菱重工業(株)長崎造船所

所在地：長崎市飽の浦町9ほか2筆

概要：鑄型製造のための木型場として建築された長崎造船所に現存する最古の工場建築物。1985年、木型場は史料館として改装され、日本最古の工作機械（長崎製鉄所建設時の1857年にオランダから輸入した「縦削盤」）等、長崎造船所の歴史を物語る品々を展示。

<建築年>1898年（明治31年）

<指定範囲>A=3,618.14㎡

<仕様等>・木骨煉瓦造2階建（イギリス積み）

・屋根…切妻造、棧瓦葺

・設計者 堀江豊吉

指定理由：

- ・明治31年に建設された長崎造船所内で最も古い建築物であり、現在は三菱の歴史を物語る史料館として活用されている。
- ・屋根を支える小屋組みのトラスが特徴的な二階建て煉瓦造りの建築物である。

備考：2011年第17回長崎市都市景観賞「歴史のある部門」受賞